

調査研究活動記録票

会派名 黒部の恵

活動名	黒部の恵 視察	使途 項目	・調査研究費 ・研修費
日程	令和4年11月30日(水)～令和4年12月1日(木)		
場所等	東京都内 詳細は内容欄記載		
参加議員 人数・氏名	1人	橋詰真知子	
目的・ 内容・ 成果	<p>目的</p> <p>黒部市と関連の深い北方領土について知り・学び、実際に行進に参加することで、この問題の現状を体感することを目的とする。</p> <p>人口減少対策において移住者を呼び込むことは一つの方法である。 コロナにより地方移住を選択する人が増えていることから、実際に相談を聞いたり、移住フェアなどを開催しているセンターにて現状を知ることが目的とする。</p>		
	<p>内容</p> <p>① 北方領土に関する研修 受講 場所：領土主権展示館（東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門三井ビルディング1階）</p> <p>② 北方領土返還要求アピール行進 参加 場所：日比谷公園野外音楽堂（東京都千代田区日比谷公園1-5）～鍛冶橋交差点</p> <p>③ 【全国移住相談窓口】認定NPO法人ふるさと回帰センター 視察 場所：ふるさと回帰支援センター（東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階）</p>		

	<p>成果</p> <p>① 北方領土の歴史を知り、どういう問題なのかを理解できた。</p> <p>② 1945年12月1日、当時の安藤石典根室町長が連合軍最高司令官マッカーサー元帥に対し、北方領土の返還を求める陳情書を提出した歴史的経緯にちなみ、この12月1日を「北方領土の返還要求運動のはじまり」の日と位置付け、日本の中心である東京において、北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、北方領土返還要求アピール行進を実施していることがわかった。</p> <p>知ることと学ぶことの重要性、実際に自分の目で見て、参加して体験することで、より深く知り学ぶことができると感じた。</p> <p>③ 「認定NPOふるさと回帰支援センター」は創立20年をむかえた。 20年前は、「移住」という言葉はまだなかった。 移住は、かつてはロマンが大部分を占めていたが、 現在では人生の選択、安心安全な地域・環境、子育て、生活、家族含めた幸せ、などなど移住で叶えたい目的は多種多様になっている。 コロナ前と後でも変化すると思われる。 全国的な人口減少の中で、 移住者の役割は、もともとその土地にいた人とは違った視点で地域の魅力を感じ、それを地域の活力、地域づくりに活かすこと。 移住者を呼びたい市町村側は、どういうまちにしたいのか、そのためにこういう人に来てほしいというターゲットを明確にして、そこへ向けてメッセージを発信していくことが必要。</p> <p>私自身、実際に子育てをきっかけに家族で黒部市へ移住した経験から、上記の話に深く共感した次第である。人口減少対策のひとつとして移住が挙げられるが、現実的には、移住は人生の選択であり、簡単にできるものではない。なので、移住施策も成果が目に見えるものではないと考えているが、今後も取り組み続けるのならば、やはりターゲットを明確にすることは必要だと感じた。</p>
--	--

参考様式第2号

経費内訳

単位：円

整理番号	月日	支出内容	金額
1-1	11月30日～ 12月1日	交通費 新幹線代 黒部宇奈月温泉駅 ⇄ 東京駅	23,760円
1-2	11月30日	タクシー代	1,200円
1-3	11月30日～ 12月1日	宿泊費 アパホテル 新橋 虎ノ門	13,400円
	合計		38,360円

参考様式第2号

整理番号 2-1

調査研究活動記録票

会派名 黒部の恵

活動名	黒部の恵 視察	使途 項目	・調査研究費 ・研修費
日程	令和5年2月7日(火)～令和5年2月9日(木)		
場所等	益田市、広島 詳細は内容欄記載		
参加議員 人数・氏名	1人	橋詰真知子	
目的・ 内容・ 成果	<p>目的</p> <p>① アースサポート株式会社 新川リサイクルセンターの親会社になった企業であり、その取り組みについて視察。</p> <p>② 益田市役所 オール益田 ひとづくり に力を入れて取り組んでいる事例と、「カタリ場」というプロジェクトについて学ぶことで、黒部市での「協働」、「未来会議」などへの市民の参加・参画を増やしていくためのヒントを得たい。</p> <p>③ 広島県広島市 平成26年8月豪雨により発生した大規模な土砂災害現場 なぜ、災害が発生したのかを知ることと、復興の様子を見ることを目的に視察。</p> <p>④ 原爆ドーム、平和記念公園 戦争の悲惨さを後世に伝えつづけるこの施設、今まで実際に訪れたことはなかったので、しっかりと自分の目で見て、感じて、学ぶために視察。</p>		
	<p>内容</p> <p>① アースサポート株式会社 (場所：島根県松江市八幡町882番地2)</p> <p>② 益田市役所 (場所：島根県益田市常盤町1番1号)</p> <p>③ 広島県広島市 土砂災害現場 (住所：広島県広島市安佐南区、安佐北区)</p> <p>④ 原爆ドーム、平和記念公園 (住所：広島県広島市中区大手町1-10周辺)</p>		

	<p>成果</p> <p>① アースサポート株式会社 新川リサイクルセンターの親会社になった企業であり、その取り組みについて視察。リサイクルに対する真摯な姿勢を感じることができた。遺品整理など個人向けのサービス展開を黒部においても期待するところである。また、女性の活躍が目覚ましい企業であり、女性がさまざまなライフステージを乗り越えて働き続けることができる職場環境を実現しているところに感動するとともに勉強になった。</p> <p>② 益田市役所 オール益田 ひとつくり 「協働」、これほどこの行政においても取り組んでいることである、そしてその取り組みは市町村の数だけあり、内容はさまざまである。益田市の取り組みは非常に勉強になった。なぜうまくいっているのか、それをネットで調べていてもわからなかった。しかし、実際に携わってきた職員の方々と話をし、益田市に暮らす人のお人柄に触れることで、「カタリ場」というプロジェクトがうまくいっている理由を感じられた。</p> <p>③ 広島県広島市 平成26年8月豪雨により発生した大規模な土砂災害現場 現地を訪れ、現場のパネルを見ることでより具体的に当時の状況を知り、災害の恐ろしさを感じた。ハザードマップの認知度を上げ、住民が危険箇所を認識しておくことは、住む場所を選ぶ際の情報として有効であり、そしていざという時の備えになると感じた。</p> <p>④ 原爆ドーム、平和記念公園 「戦争は悲劇でしかない、2度とこのようなことになってはいけない」実際に訪れて自分の目で見ることで改めて深く感じた。戦争を後世に伝えつづけるこの施設の意義と現実を事実として伝えていくことの必要性を強く感じた。</p> <p>まとめ 気になったことや知りたいことを調べる時、ネット検索は24時間年中無休で利用でき非常に便利である。しかし、実際に現地で、五感で感じることで初めてわかること、気づくことがある。 先進事例から学ぶことは、それをそのまま黒部市でも取り組もうということではなく、なぜうまくいっているのかを実際に見たり感じたりすることであると思う。そのうえで、黒部の場合にはどんなことができるのかを考えることであると思う。 そして、視察とは、視察したことを今後活かしてこそ意味があると感じた。 今回の学びを今後活かしていきたい。</p>
--	---

参考様式第2号

経費内訳

単位：円

整理番号	月日	支出内容	金額
2-1	3月28日	移動費、宿泊費、レンタカー代 73,720円 振込手数料 550円	74,270円
	合計		74,270円